

しんあい

季刊

2002年(平成14年) 5月20日発行 第47号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人 多摩同朋会
 所在地 東京都府中市武蔵台1-10
 〒183-0042
 TEL 042-366-0080



特別養護老人ホーム 信愛泉苑
 高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター
 養護老人ホーム 信愛寮
 小規模特別養護老人ホーム 信愛緑苑
 府中市立特別養護老人ホーム あさひ苑
 府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター
 子ども家庭支援センター しらとり
 母子生活支援施設 白鳥寮
 母子生活支援施設 東京都網代ホームきずな
 母子生活支援施設 中野区さつき寮

「それじゃ ぼく王手になっちゃうよ」
 「あっ 待った待った!!」信愛寮の
 Tさんとご近所に住むU君の真剣勝負
 (緑苑にて)



高3のT君と小2のR君。
 母子生活支援施設ではこんな年のはなれた
 子ども同士でも仲良し。
 (東京都児童会館にて、さつき寮遠足)

介護に関するご相談は無料ダイヤルで!

- 泉苑在宅介護支援センター
 **0120-6540-24**
 老後支援 24時間
- あさひ苑在宅介護支援センター
 **0120-2942-24**
 福祉にっこり24時間

特集

- オーストラリアの高齢者福祉に学んで
- 介護保険を考えるPART18
- 施設だより
 テーマ さわやかな季節のちょっとした話、ちょっとした笑顔

オーストラリアの高齢者福祉に学んで

財団法人愛恵福祉支援財団主催による
オーストラリア研修（平成14年2月10日～17日）報告

緑苑施設長 関 道子

オーストラリアは国土面積が7692千（日本の20倍強）周囲を太平洋、インド洋、南氷洋に囲まれたアメリカ合衆国本土とほぼ同じ世界で6番目に大きい国。政府は、連邦政府・州政府・地方政府の3段階から成り立っています。総人口は約1900万人（日本の約6分の1）で高齢化率は約12%、満65歳以上の高齢者が約220万人でその57%が女性。少子高齢化の進行や女性の社会進出など日本と同様な経過を辿っている、2041年には高齢化率が25%に達すると推測されています。

その主な理由として①1940年から1960年頃のベビーブーム②1946年以降の外国からの移民を受け入れたこと③健康管理の充実により長寿を得たこと④若者が減少していること⑤クイーンズランドで老人介護を受けるために他州から移り住む人が多いことなどが挙げられています。

◆オーストラリアの福祉

オーストラリアの老人介護は基本的に税で賄われています。国民のボラ



ブルーナーシングホームにて研修参加メンバーと

ブルーナーシングホームにて研修参加メンバーと。施設補助やサービス経費補助が始まり、施設介護に重点がおかれてきました。65歳以上人口に対する施設入所者は、約5.7%、80歳以上になると31.1%、高齢になるほど施設入所が増加しています。しかし、いくら施設を建てても需要に追いつかないことが分かり、1980年代後半からはナーシングホームよりホステルの充実が図られるようになりました。ホステルとは日本のケアハウスで一応は自立した

ンティア精神を軸に中負担福祉を目指して、行政・民間企業・地方自治体等が役割分担し、真剣に取り組んでいます。施設の建物も広く、その殆どは病院やリタイヤメントビルの中にも一体的に、ホステルやナーシングホーム等が整備されています。そして、今いる場所が老いる、健康的に老いることが提唱されています。社会福祉の歴史は1954年に老人ホーム法が施行され、連邦政府による高齢者福祉サービスが始まりました。1966年には要介護者用のナーシングホームの建設補助やサービス経費補助が始まり、施設介護に重点がおかれてきました。65歳以上人口に対する施設入所者は、約5.7%、80歳以上になると31.1%、高齢になるほど施設入所が増加しています。しかし、いくら施設を建てても需要に追いつかないことが分かり、1980年代後半からはナーシングホームよりホステルの充実が図られるようになりました。ホステルとは日本のケアハウスで一応は自立した

高齢者が家事サービスを利用し、生活する施設です。1人用・2人用の居室にはミニキッチン、バスルームがあり、家具や愛用のベッドも持ち込み可能。リアフリーや極力家が雰囲気を損なわないなどの工夫がなされています。日本の有料老人ホームの趣き）ホステルへの入居一時金は約180000円、5年分の上限額が約100万円。（1A\$67円、物価が日本の3分の1、給料が5分の1）。土地代



痴呆性高齢者のためのグループホーム

1シングホームにも課せられるようになり、所得に依じた追加利用料（約4500円/日）を負担するようになりました。補助金も3分の1にまで減額、リストラが行われました。私たちが訪問したブルーケア施設や救世軍・ホスピスでは、看護婦である介護専門スタッフ以外は、清掃、洗濯、調理などの補助業務を、パートタイマーや外部委託することで徹底的に人件費抑制が図られています。効果的な人員配置と教育訓練による質の高いケアサービスの提供は、事業者にとって最も重要な課題となっています。国では施設サービスの質を確保するため、1987年にはナーシングホームに対し、保健サービス、社会的自立、選択の自由、プライバシー、個人の尊厳等7つの分野に関する基本原則を定めています。定期的なモニタリングを行い、その基準が守られていない場合は警告や補助打ち切りなど、厳しい制裁を課すようになっています。

◆HACCシステム（ホームアンドコミュニティケアプログラム）

オーストラリアの高齢者福祉は、保健医療と一体的に整備されています。公設の病院もありますが医療費が非常に高く、病院への入院は最小限にして家で療養する方針をとっています。どんな大手術でも一週間から10日以内で（日本が42日、アメリカで14日）自宅で療養していく訳です。在宅ケアは必然です。サービス内容は訪問看護、パーソナルケア、ホームケア、ホームヘルプ、休憩ケアサポート、デイケア、給食サービス、交通手段補助などが揃っています。現在、国が最も力を入れているこのHACC予算は、初期の倍額で2200以上の機関で約22万人にサービスを提供しているそうです。HACCの利用料は1ドルが無料サービスに限度はありません。その人にとって必要であればどんなにお金がかかってもサービスが提供されます。1ドルでも負担することで利用者は安心し、必要なサービスを受けることができます。そして、そのお金はまた効果的に使われることとなります。どういうケアが必要かは面接時に決めます。ただホームに入所して老いるのではなく地域の中で生活する、ただ在宅サービスを提供するというのではなく、そのひとり一人にあったサービスを個々に提供すること、に常に真剣に取り組んでいます。HACCの将来像はターゲットを絞り、質の高いサービスを提供すること。誰がどんなサービスを必要としているかを判断し、その技術を高めるために生涯教育をする、社会の中で孤立しないサービスを常に考え、社会参加を促していく、ことなどが考えられています。本人にとって本当に必要なサービスを提供することが、ひいては州財政も節約できるということが、現場にしっかりと浸透している様子が伺えました。

◆ACAT（エイジドケアアセスメントチーム）

ACATは、1986年に国が導入した高齢者介護評価チームです。1996年時点では全国で121チームが活動している。メンバーは1チーム10名から20名前後。（ソーシャルワーカー・医師・OT・PT・臨床ナース・地域ナースその他の専門職で構成）この制度は国の仕事であり、メンバーは国の代表としてサインをします。どの州でも通用します。評価は色々な人が行いますがサインできる人はただ一人です。10年や20年のベテランでないとそのメンバーにはなれません。ACATの主な任務は高齢者の家に向いて本人や家族と話し合い、総合的に医療の必要性や物理療法、ナーシングホームへの入所の必要性、低いケア（お世話）と重度ケアを分けること、などが主な任務です。評価は8段階で1から4が重度（施設入所）5から8が軽度（在宅ケア）です。重度でも在宅ケアを受けたいと希望すればCACCP（コミュニティエンドケアパッケージ）を利用し、在宅でケアを受けます。また、例えばHACCシステムから2つくらいのサービスが受けられれば、在宅で十分生活できます。チームはその後モニタリングを行い、サービスがきちんと行き届いているか、誤ったサービスをしていないかなどといった情報を適正に管理していきます。

◆オーストラリアのケアスタッフ

オーストラリアのケアの担い手は看護婦が中心、病院ケアと同じレベルのケアが提供されています。特に正看護婦は大学卒で高い教育を受けていて、医師とも対等の関係で活躍しています。ナーシングホームやホステルに勤

務して授業や臨床検査、処置などを行っていますが日本のように医師の指示がないと看護婦もヘルパーもなにもできないなどということはありません。介護は普通のお世話であり、痴呆の人でも滅多に薬は服用しません。病気でないと考えてケアが提供されています。それぞれの専門職はお互いを尊重しあい、責任をもって発言し、そして高齢者ケアを支えるパートナーとして連携しているのです。専門職はたったの5%、あとはボランティアが重要な役割を占めています。看護婦はその受けた教育により様々な働きをしています。殆どの人はまた大学へ戻り、癌や緩和ケアについて臨床経験を積み、深く学んでいるそうです。

ケアスタッフの職名

名称	資格取得
1 ディレクターオブナース	大卒の正看護婦（博士号）
2 クリニカルナースコンサルタント	
3 アシスタントディレクター	12週間
4 レジスタードナース	
5 メディケーションエンロールドナース	2年間の勉強
6 エンロールドナース	専門学校・大学又は病院で1年間勉強
7 アシスタントナース	パート勤務で1年、常勤で半年

ケアラー	レベル1	シャワーのみ
	レベル2	食事・買い物・料理など
	レベル3	退役軍人の相手など
	レベル4	負傷管理

☆プラティカルナースとはアシスタントナースまたはケアラーの総称であり、治療的なことは行いません。

看護婦の1時間当たりの給与	(1A\$67円)
正看護婦	19~20ドル (1273円~1340円)
エンロールドナース	14~15ドル (983円~1005円)
アシスタントナース	12ドル (804円)

私たちが訪問したブルーケア施設は、オーストラリアを誇る民間事業者でスタッフが7500人、事業規模は176億円。国内に10の支部本部を持ち優れたサービスを提供しています。また、救世軍は広大な敷地に施設を建設して、地域社会で困る人々を救済する仕事を世界規模で展開しています。厳しくなる一方の運営財源確保にはあらゆる機会を通してバザー・キャンペーンなどを行い、社会に寄付を募ることをしていました。ホスピスでは、ボランティアを組織して、死が間近い人々にお世話する仕事をしています。たった6床の小さな施設を建設し、そして運営を地域に根付かせた車椅子で私たちを出迎えて下さ

ブルーケアの居室



た6床の小さな施設を建設し、そして運営を地域に根付かせた車椅子で私たちを出迎えて下さ

ったヒルダ女史は、今年の2月、永遠の眠りにつかれました。シニアネットワークの産みの親でもある先生の揺るぎない情熱、生命の尊厳・ヒューマンサポートへの深いご教示は、しっかりと次代に受け継がれていくことだと思います。

色彩豊かでシンプルな生活、ゆったりとした時を楽しめる静かで暖かい雰囲気施設を見学して、日本の施設介護は今、もしかしたら高齢者が求めるお世話から遠のいてしまっているのではないかと不安になりました。でもここではっきりとしたことは「介護」とは普通の暮らしを支えることであり、普通のお世話ということでした。私は福祉先進国から学んだ多くのヒントを参考に、日本固有の文化風土や日本人の心情に合った「介護」、必要時は誰もが安心して利用できる仕組みとして、社会に確立していくことが急務であると感じました。

特集 介護保険 PART18

介護保険を考えるXII (説明編)

鈴木 侑子

今回は要介護認定と必要なサービス量の関係について考えてみます。

介護保険の給付を受けるためには、要介護認定を受けて介護度を決定してもらい、その介護度に応じて決められた給付額の枠内でケアプランを立て、サービスを利用することになります。要介護認定は給付の基準を決定し、介護保険で利用できるサービスの量は介護度によって決まります。

要介護認定は本人の状態のみに基づき決定されますが、実際に必要なサービスの量は本人の状態だけでは決まりません。家族と同居しているかどうか、家族の有無や家族の状態、あるいは住んでいる家の状況や周辺の環境、今までの経験・意欲等によって必要とするサービスの必要量は異なります(その他にも家族の意思や負担額によって左右されることもあります)。

介護支援専門員(ケアマネージャー)は住み慣れた地域で住み続けられるように、その人らしく自立した生活ができるように、また家族の負担を軽減できるようにと制度の目的にそって総合的なケアプランを立てようとしています。しかし認定された介護度(給付額)とその人が必要とするサービスの量は必ずしも一致しません。

要介護5でも家族が家事や介護ができるのでショートステイだけ月に一週間利用できれば良いという方がいる一方で、アパートの2階でひとり暮らしをしており何とか頑張って生活している要介護1の方にはサービスが不足する、という板挟みのなかでケアマネージャーは苦悩しています。

認定された介護度(給付額)とその人が必要とするサービスの量との間の溝をうめるために、生活支援・介護予防などの福祉サービスに力を入れている自治体もあります。また施設入所により解決するしか道のない場合もありますが、施設も希望者(待機者)が多く、入所できる施設を探してもなかなかありません。退院を迫られている方の場合などとても深刻です。

要介護認定と必要なサービスの量の関係

介護保険制度			ケアマネージャー	サービスの必要量を左右する要件			
状態のめやす	介護度	給付額(点数)		家族等	環境・住居	経験・意欲	
要介護にならないための支援が必要な状態	要支援	6,150		↑少 家事や介護を分担する家族がいる	↑少 家の周辺は坂や階段もなく平坦で徒歩で買物ができる	↑少 若いときから何でも自分で行う	
排泄・入浴・清潔・整容・衣服の着脱などに	一部介助が必要な状態	要介護1		16,580	家事や食事の仕度を行う家族がいる	住居内は車椅子でも自由に行動ができ気軽に外に出られる	何とか生活できるが、食事や掃除、洗濯等いずれも不十分であり栄養の片寄りがみられる
	一部介助又は全介助が必要な状態	要介護2		19,480	家族がいても家事等は別になっている	家の外までは出られるが坂や階段があり、乗り物を使わないと買物ができない	できないことも何とかしようと努力するが、家事全てを行うことは不可能
	全介助が必要な状態	要介護3		26,750	家事・食事は本人が行っていたので家族はほとんど行わない	借家であるために住宅改修ができず、手すりや浴室など不安が多い	意欲はあるが身体が思うように動かない。手助けがあれば食事の仕度は何とかできる
	全般に全面的な介助が必要な状態	要介護4		30,600	家族も高齢や障害のために生活の援助が必要	家屋は和風造りで段差も多く、洗面やトイレに不自由である	料理やその他の家事はほとんどしたことがなくできない、もしくは意欲がない
日常生活の全般にわたって全面的な介助が必要な状態	要介護5	35,830		多↓ 家族(同居人)はいないひとり暮らしで近隣に親しい人もいない	多↓ 居室が2階にあり、ひとりで階段を降りることができない	多↓ 全く無関心で視野にない	

例え	介護保険制度			ケアマネージャーの苦悩	サービスの必要量を左右する要件の状況		
	本人の状態	介護度	給付額(点数)		家族等	環境・住居	経験・意欲
Aさん(男性・65歳)の場合	・排泄:自立 ・入浴:一部介助 ・清潔:一部介助 ・整容:一部介助 ・衣服の着脱:一部介助	要介護1	16,580	・訪問介護:2回/週 ・通所介護:2回/週 ・短期入所:4日間/月 ・食事の仕度や通院援助などのサービスを必要としているが、介護保険では対応できない。昼夕食については仕方なく自費で訪問介護を利用している	・息子夫婦と同居だが息子の妻は難病でAさんのための家事や介護はできない	・住居内に段差が多く、洗面やトイレに不自由がある	・料理等の家事の経験がほとんどなく、意欲もない
Bさん(男性・77歳)の場合	・排泄:全介助 ・入浴:全介助 ・清潔:全介助 ・整容:全介助 ・衣服の着脱:全介助	要介護5	35,830	・福祉用具レンタル(ベッド、じょく創予防用具) ・往診や訪問介護、通所入浴等のサービス利用を勧めているが、家族でできるからと拒否されている	・妻との二人暮らしだが、息子の妻2名の協力を得ており、家族介護を希望する意志が強い	・都営団地の1階であり、本人のスペースはベッド上のみで、ほとんど終日を横になって過ごす	・身体機能的に不可能

要介護認定による介護度区分をなくし①一律の上限額のみを設定すること、②ケアマネージャーはその上限額のなかでアセスメントに基づくケアプランを立てること、③審査会はそのケアプランの適正さをチェックすること、とすれば

認定のためのコンピュータソフト開発費用をはじめとする中間経費の削減及び事務業務の省力化、手続きの簡素化が実現され、保険証一枚ですぐにサービスが利用できると思いますが、みなさまはいかがお考えになりますか?



緑苑

泡を食ったカニ

「今年には毛ガニが食べたいね。」
ある年のOさん(男性・八十歳代)
からのリンクエッセイでした。

その年に入ってからOさんは体調がすぐれず日中
でも横になっていて時間が多くなり、持ち前の酒脱
さが影をひそめつつありました。



鈴木 政良

泉苑

笑顔

私は去年の8月から泉苑のショートステイで働いて
います。まだ最初の頃は、何もかも
わからなく、お年寄りの方達から
いろいろ教えていただきました。

杉崎 清佳

さわやかな季節の
いい話
ちよつと
した笑顔

あさひ苑

ちよつといひ話〜平成介護列伝〜

「おはようございますー!」
あさひ苑のサマーバスですー!
「あら、奥さんおはようござ
います。準備できてます?えっ、おなか
痛いの?いつから?今、急に痛くなった
の?じゃ大丈夫。気のせいですから、
忘れの頃に治ります。支度をはじめまし
ょう、皆さん車のお待ちですから。」

そんなこと言ったって、影も形も無いよ
うに「エ!?奥さん、片付けちゃったの?あ
りやうやうや、そんなじゃ、急いでも
う一度出して...」

金井 英明

さつき寮

じゃせのびんせき

「ねえねえおぼさん!」
午前中、保育園に通っ
ていない3歳と4歳の姉妹
を寮内保育しています。主に担
当しているのはYさん。彼女た
ちのママよりもうくんつと若い
「お姉さん!」(自称?)も彼女
たちにとっては「おぼさん」

る人が「おねえさん」だっこと。
「うっせえんだよっ!」ちよ
つと「靴をしまいましよ!」と
注意をしただけでキツッと睨ん
で怒るDくん。卓球をやったり、
ピアノを弾いたり、機嫌のいい
時はニコニコとかわいらしいけ
ど、不機嫌になると、何を言っ
てもダメで何倍もの暴言で返し
てきます。その彼が異動する職
員の送別会で「先生がいなくな
ったら卓球をする相手がいなく
なるので残念です...」と素
直な気持ちで自分の言葉で一生
懸命に伝えていました。その心
の言葉に聞いていた私もぐっつ
と込み上げるものがありました。
子どもたちもちよつと「いやが
ら、いろんな想いを抱いていま
す。普段は照れていたけど意地を
張っていても、みんなちゃんと
分かっています。そう言うコトバ、
もっとたくさん聴きたいな。」

本間 美由

白鳥寮

いい顔

ぼかぼか陽気に
誘われて、子ど
も達と久し振りに、
白鳥寮の庭で遊んでいた時
車椅子に乗ったお散歩中()
のおじいちゃんにお会い
しました。子ども達も臆
することもなく、側に行
きおしゃべり。一番小さい月
齢の赤ちゃんを寮母さんが抱っ
こすると、何となく、おじいちゃん
の顔を緩んだ気がしました。
お年寄りの方は子どもと、子どもはおじいちゃん、
おぼあちゃんとお接することでお互いに刺激になれ
ば良いと思います。笑顔が一番の顔を見ること
が心穏やかになる秘訣でしょうか。これからもお
互いに、いい顔を見せ合いたいですね。

梶 三恵子



きずな

見し見し!

寒い冬、小学生の恒例と
も言えるのが「マフリン」そ
して「なわとび」...
きずなの小学生もみんななわと
びに夢中!
今回はその中でも小さな2年生の男の子
の心温まるお話です。
半年前、きずなに入所するまでは喘息
がひどく、薬を飲んで生活をしていま
した。
体も小さい、きゃしゃな男の子。
「ねえ、見て。」と窓の外から職員を呼
び、初めて職員になわとびを見せてくれ
たのが今から1ヶ月前のことでした。
1番簡単な前回し...。1・2・3・4・
5... たった5回...。あらあら...。手も
うまく回せません。なんてきずないん
でしよう。

になり三重飛びにも挑戦中です。とても
2年生とは思えないほどの上達振りに職
員も驚きを隠せません。この前まで、
前回しさえ上手にできなかつたのに!!
毎日、毎日たくさん練習をして1ヶ月
で新しく買ったなわとびの数なんと4
本!!たかさん飛んでいるので、摩擦です
ぐなわが切れてしまうのです。小さな男
の子の汗と涙の結晶なのです。
「ねえねえ、何やってほしい??」き
らきらと目を輝かせる小さな手には新し
く買ったばかりの4本目のなわがしっか
りと握られていました。

松崎 美貴子



ボランティア活動紹介

泉苑

●日和会

「おはようございます！今日もよろしく願いますね。」
 「〇〇さん、今日は飲み物何にします？やっぱりお茶？」朝から明るい声が聞こえてきます。
 この声の主は、泉苑地域デイサービス「日和（ひより）会」の金曜グループに新しくボランティアとして来られた、鈴木千代子さ

人と辰本ケイ子さんです。お二人とも今年の2月に来られたばかりなのですが、そこはボランティア主婦！なんでもテキパキとこなし、ご利用者の皆さんと一緒に体操、和紙細工作り、また昼食の配膳、下膳等々とあらゆるお手伝いをお願いしています。（本当に感謝です！ありがとうございます。）
 しかも、このお二人、とてもお話がお好きな方で、毎回話題が絶えずとても楽しい時間を過ごすことができます。（ますます感謝!!）

きずな

●頼もしい味方

この4月からあきる野市の子ども家庭支援センターの仕事メインに、毎週火曜日の午後、

今後とも、未永くお付き合いできますよう、よろしくお願ひ致します！（寺澤 恭彦）

きずなの子どもたちと過ごしてくださることになった加藤光子さんを紹介します。
 加藤さんは、昨年11月まで主任児童委員、今年3月までは増戸中学校のスクールカウンセラーをされていました。きずなどは平成9年に行われたある家庭の支援についての関係者会議以来、5年のお付き合いになります。
 それ以降、不登校きずみの子どもたちを中心に交換日記や学校までの送迎、誕生日プレゼント

等のような交流により、職員以上の信頼を得ているかもしれせん。
 自分の気持ちをうまく表現できない子や友達とうまく遊べない子、いろいろな子どもに温かく手を差し伸べてくれる頼もしいお母さんの登場で、きずなにまた新しい風が吹き込みそうです。
 （松崎美貴子）

ボランティアの御協力ありがとうございます（敬称略）

青木成江、赤田美恵子、赤林好子、浅井好子、浅見スジ子、阿部才千代、天野つよし、飯塚喜亥子、飯塚麻紀、生出弘子、池田靖那、石井宏、石坂勝代、石川滋子、石森節子、市村正美、伊東富美子、伊藤浜子、猪野彩子、井上佐代子、井上宏子、井踏世津子、魚住仁恵、上沢美和子、上野玲子、鶴澤シツ、江口亜津子、江田広子、榎坂博、遠藤みつよ、遠藤陽子、大倉弘子、大田トク、大竹ちとせ、小川健治、荻野和子、小倉道子、小澤末子、尾崎ヨシ子、恩田猛、角田和歌子、笠間豊子、梶田慶子、鹿島千重子、カッツサロンアベ、加藤静、加藤博子、神尾史郎、香山弘子、河内協子、川出美恵子、川崎綾子、川崎和代、川崎恵、株式会社コニカ邦楽班、北邑ヒデ子、城所栄子、木村幸子、木本敦子、草野美鈴、久保田摩耶子、黒岩富

美子、黒澤貞子、能倉洋子、警察学校、弦間まさ、小出晨一、小出由美子、河野トシヨ、小島瑠美子、小島ユミ子、小島百合子、小須田まつ代、小林希代子、小林貞子、小松志野、小柳小学校、プラスバンド、今野幸子、紺野和子、斉藤孝子、佐伯ヨシ子、坂本文子、桜山佐恵、迫祥夫、佐々木ちが子、佐藤秋子、佐藤なか子、佐野田鶴子、塩沢佳津子、柴田美紀、島津弘子、嶋田深美、清水文枝、清水よね、下江美鈴、下染屋囃子連、城田一伊、進藤サエ子、進藤理子、菅原芳子、杉山シズ、鈴木昌子、鈴木千代子、鈴木嘉子、菌部あき、高沢和子、高田道敏、鷹野栄子、高嵩米子、高野晴美、竹松ふく、竹内カツ子、竹内範子、竹内由美子、田口稔子、辰本ケイ子、田中かね子、田中久美子、田中勉、田村冬、丹野

由紀子、千葉よし、辻新浩、辻村千枝子、土屋和子、徳永桃子、中下秀子、中島永子、中島トシエ、永田真里、中野利子、永野信子、中村知美、中村とく子、中村フサ子、中村美佐江、永吉和子、奈須静江、西木操、西久保長子、野口ふみえ、能登谷さくら、萩原八枝、橋本巖、長谷川信子、働く婦人の会、花沢浩子、原菊江、原田敏子、羽山直子、土方梢、ひのきしんの会、平井暉子、平泉順子、平澤みどり、平田敦子、平山房子、福島英子、福原正、藤原藍子、二家貞子、古戸育子、法師人富子、堀口初江、牧内ヤス子、牧野新子、松川香津子、松沢通子、松田恵子、松野アイ、松村京子、真鍋チエ子、丸山公恵、水谷静江、水野智恵、三溝久枝、御手洗昭二、三輪孝子、宮川和子、宮澤由紀枝、村尾良子、毛利裕子、

持田絵理子、望月友子、森亮子、元田良一、森口絹代、森嶋智子、盛田光代、八木かつ子、山内邦子、山上涼子、山田ケイ子、山田繁子、山野井貞子、山本かおる、山本峯子、湯浅篤、弓削田恵美子、横田公子、吉田トヨ子、吉田ヒサ子、吉田睦子、理容ボラ、脇山令子、渡辺キク
 （平成13年12月〜平成14年2月）

平成十四年度

季刊しんあい編集委員は

あさひ苑 新居・平松・伊藤（泰）
 泉苑 阿久津・法村
 緑苑 上野・田口
 きずな 松崎
 しらとり 土屋
 さつき 本間
 本部 椎名
 が担当いたします。ご意見・ご感想をお待ちしております。どうぞよろしく願ひいたします。

御寄贈

ありがとうございます

ぐじょういます（敬称略）

石倉静江、井上、今堀茂夫、遠藤盛、大和證券グループ本社社会貢献室、(株)ABCリサーチアイ、バンフォレスト、(株)成島商会、(株)ヤクルト球団、岸本きよこ、麒麟麦酒(株)、浄土宗東京教区青年会、浄土宗八王子組青年会、

東京善意銀行、東京三菱銀行、シルバヴィイラ哲学堂、東京都廻類協働組合、時田惇、寺嶋恵美、中井幸江、並木綾子、日本モーターボート選手会東京支部、人形劇団ブーク制作部、八王子組浄土宗青年会、府中朝日養護学校、紅林照子、武蔵府中法人会女性部会、武蔵府中郵便局、睦月会、守谷秋江、モント物産(株)、靖国神社祭務部祭儀課、米屋(株)